



通信



10月になり、キンモクセイの香りがどこからか風に乗って来ますが、気温の変化が激しい日々が続きます。体調を整え、風邪をひかないように気をつけましょう。

個個港学舎 舎長 八木貴子



カブお化けから カボチャお化けへ

昔々、イギリスの農夫ジャックは「死後、絶対地獄に行かない」と悪魔と契約を交わしました。これで何をやっても地獄へ行かずに済むと安心した彼は、好き放題悪行三昧を尽くして息を引き取ります。しかし、生前の行いがあまりにも悪かったため、彼は天国の扉をくぐれなくなっていました。かと言って地獄へ行こうにも「絶対地獄へ行かない」と契約してしまっていたので、彼の魂はどちらにも行けず、ジャックは仕方なく、足元に転がっていたカブをくり抜いてランタンを作り、火の玉お化けとしてこの世をさ迷うことになったのでした…。



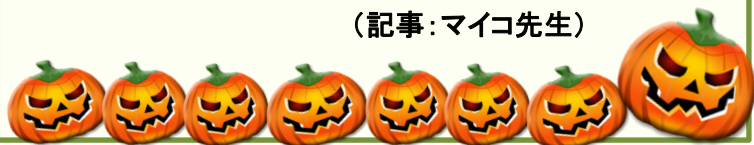
さて、今月末はハロウィンですね！ハロウィンといえば、カボチャお化けのランタン、ジャックオーランタンが有名ですが、元祖・ジャックオーランタンはカボチャではなく、最初のお話に出てきた、カブで出来たものでした。



今のメジャーな形であるオレンジのカボチャを使って作ったものは、ハロウィンと一緒にジャックオーランタンがアメリカに伝わった際、カボチャの方がカブよりも加工しやすいという理由で、カボチャがカブにとって代わり、そして現在のジャックオーランタンに落ち着いた、というわけです。

ただし、元祖ジャックオーランタンの伝説が残るイギリス北西部とアイルランドでは、ハロウィンには今でもカブを使ってランタンを作っているそうですよ。

(記事:マイコ先生)



名前を書いて、個個港学舎にお持ちください。

お菓子をさしあげます。期間:10月25日から31日

ハロウィン トリック・オア・トリート

あなたのお名前

TEL 045-431-6977 個個港学舎

学習状況のお知らせ

受験生はこれからますます力をつける時期です。模擬試験なども行われています。毎日の学習計画をたて実行しましょう。学習計画、進路の相談はいつでもお受けします。

(今月はハロウィーンのイベントです。下記の引換券を切り取り期間中にお持ちください。お菓子がもらえます。)



ヨーロッパ紀行⑥

元祖マルゲリータを食す



今回は、ピザの話です。

イタリア、ナポリにあるピザ屋ブランディの創業の歴史は、なななんと！1780年に遡ります。日本が江戸時代の頃です。1886年6月、かつてイタリアがまだ一つの国になっていない頃、トリノにあるサヴォイア王家の王女マルゲリータが、ナポリを訪問した際に、1人のピッツァ職人が、宮殿に呼ばれました。献上したいいくつかのピッツァのうち、マルゲリータ王女が最も気に入ったのが、イタリア国旗の色を連想させる

赤いトマトソース、

白いモッツァレラチーズ、

緑の葉バジルコを使ったものでした。



これを大変お気に召した王女さまがその名前を聞くと、ピッツァ職人が、「女王様にちなんでマルゲリータと名付けてよいでしょうか？」と聞いたことから、南イタリアの名産をのせたこのピッツァは、「マルゲリータ」と呼ばれるようになります。

ナポリの繁華街にあるピザ屋ブランディはとても気さくな店で、各国の人で賑わっていました。ちなみに日本人は、ピザを手で食べる人が多いですが、外国の人はフォーク・ナイフで食べるのが一般的のようです。(とてもおいしかったです。)



